



World Water Day：授業アイデア（簡単版）

世界水の日をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. ペットボトルで地球の水を分けてみよう

中学・20分

🌀 地球の水のうち、使える淡水がどれだけ少ないかを体感し、英語で説明する。

1. 2Lのペットボトルの水を「地球の水ぜんぶ」とする。
2. 約2.5%（50mL）だけを別のコップに分ける。これが淡水。
3. そのうち約7割は氷河や氷なので、さらに減らす。川の水はスポイトの1滴にも満たないことを確認する。
4. Only about 2.5 percent of the water on Earth is fresh water. の文を使って、ペアで説明し合う。

2. 水くみ時間の計算チャレンジ

高校・30分

🌀 統計の数字を自分の生活に置きかえ、英語で意見を書く。

1. 「53か国で女性と女の子が水くみに1日2億5,000万時間」という数字を英語で読む。
2. グループで「1日2時間を水くみに使うと、1年で何時間？自分なら何に使える？」を計算する。
3. If I didn't have to carry water, I could _____. の文で3つ書く。
4. 2026年のテーマ Where water flows, equality grows の意味をクラスで話し合う。



1. ペットボトルで地球の水を分けてみよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

2Lの水を地球の水に見立てて分け、使える淡水がどれだけ少ないかを体感し、Only about 2.5 percent of the water on Earth is fresh water. などの文で英語で説明できる。

📦 準備

- 水を満たした2Lのペットボトルと、透明なコップ2つ
- 50mLが量れる計量カップとスポイト（あれば青い食紅で水に色をつけると見やすい）
- 英語ページ本文 Every Drop Has a Story の第4段落（印刷）と音声
- 説明の3文を書いたカード（Only about 2.5 percent of the water on Earth is fresh water. / Most of it is frozen in ice. / So every drop is important.）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	2Lのペットボトルを見せ、これを地球の水ぜんぶとする。「このうち、どのくらい飲めるか」を予想させ、半分・4分の1など何人かに言わせる。地球の水の96%以上は海の塩水であることを伝える。	飲める水の量を予想して言う。	"This bottle is all the water on Earth." "How much of it can we drink? Guess." "More than 96 percent is salt water in the oceans."
展開1	5	淡水は地球の水の約2.5%であることを伝え、2Lの2.5%が何mLかを計算させる（50mL）。代表の生徒に計量カップで50mLを量り取らせ、コップに移す。残りの大きなボトルとくらべさせる。	2.5%を計算し、50mLを量り取って大きさをくらべる。	"Fresh water is only about 2.5 percent." "What is 2.5 percent of 2 liters?" "Yes, 50 milliliters. This small cup is all the fresh water."
展開2	5	淡水の約7割は氷河や雪、氷になっていることを伝え、50mLのうち35mLをもう1つのコップに移して「氷」とする。さらに、川の水は淡水全体の0.006%しかないと示し、スポイトで1滴落として「川の水はこの1滴にも満たない」ことを確認する。	淡水がさらに減っていく様子を見て、川の水の少なさを確かめる。	"About 70 percent of fresh water is ice and snow." "So we take away 35 milliliters." "River water is less than one drop!"
展開3	5	説明の3文カードを使い、ペアでペットボトルを指しながら相手に説明させる。言えたら役を交代する。何組かに前で説明させる。	3文を使って、ペアで地球の水について説明し合う。	"Explain the bottle to your partner." "Use the three sentences on the card." "Now change roles."
まとめ	2	第4段落の音声を聞かせ、Every drop counts.（一滴一滴が大切）を全員で言う。世界水の日が3月22日であることを確認して終える。	本文を聞き、Every drop counts. を言う。	"World Water Day is on March 22." "Let's say it together. "Every drop counts."" "Next time you turn on the tap, think about this bottle."

📝 板書例

World Water Day (March 22) 💧

2 L = all the water on Earth

salt water (oceans) : more than 96%

fresh water : about 2.5% → 50 mL

about 70% of it : ice and snow → 35 mL

river water : 0.006% of fresh water → less than one drop

Only about 2.5 percent of the water on Earth is fresh water.

Most of it is frozen in ice.

So every drop is important.

Every drop counts.

✅ 評価のポイント

- 淡水の割合と、その多くが氷であることを英語で説明できたか。
- ペアで役を交代し、3文を相手に伝えられたか。

👉 つまづきへの手だて

- 計算が苦手な生徒には、2Lを1Lのバック2本に置きかえ、「1Lの2.5%は25mL」から考えさせる。
- 英文を言えない生徒には、黒板の3文を指でなぞりながら読ませる。
- 2.5 percent の読み方がわからない生徒には、two point five percent を先に練習させる。

🔥 発展

- 基本セット p.4 のクロスワード (GLACIER・DROP・WELL など) に取り組む。
- 基本セット p.6 の迷路 Help Asha find clean water! に取り組み、ひみつの語 WATER を見つける。
- Discussion の問い How many times do you use water in one day? Make a list. にペアで取り組む。

📖 使う教材

- 英語ページ本文（第4段落）と音声
- 基本セット p.4（クロスワード）
- 基本セット p.6（迷路）



2. 水くみ時間の計算チャレンジ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class

No.

Name

ねらい

「53か国で女性と女の子が水くみに1日2億5,000万時間」という数字を英文から読み取り、自分の生活の時間に置きかえて計算し、If I didn't have to carry water, I could ～. の文を3つ書いて、2026年のテーマの意味を話せる。

準備

- 英語ページ本文 Every Drop Has a Story の第3段落（印刷・人数分）と音声
- 計算シート（1日2時間 → 1週間 → 1年の欄）と電卓（グループに1台）
- 基本セット p.3（穴埋め Asha's Morning）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	第3段落を聞かせてから読ませ、多くの家でだれが水を運んでいるか、53か国で1日何時間になるかを答えさせる。記事にあるとおり、これは男性と女の子の3倍以上で、2億5,000万時間を年に直すと約2万8,500年分になり、それが毎日続いていることを補う。	本文から数字を読み取り、その大きさを知る。	“Read paragraph 3. Who carries water in many homes?” “In 53 countries, women and girls spend 250 million hours a day on this work.” “That is time they cannot use for school or jobs.”
展開1	7	グループで「1日2時間を水くみに使うと、1週間で何時間、1年で何時間か」を電卓で計算させる（14時間、730時間）。730時間が何日分（約30日）も出させ、その時間があれば自分は何ができるかを日本語で出し合わせる。	1年分の水くみ時間を計算し、使い道を考える。	“You carry water for two hours every day.” “How many hours is that in one year? Use your calculator.” “730 hours. That is about 30 days!”
展開2	8	基本セット p.3 の Asha's Morning を読ませ、水くみのあと学校に遅れていたアシャを思い出させる。If I didn't have to carry water, I could ～. は「今はそうではない」ことを想像する形（仮定法過去）だと説明し、could のあとに動詞の原形を続けて、自分の生活に合う文を3つ書かせる。	仮定法過去の形で、自分ならできることを3文書く。	“Think about Asha in the story.” “If I didn't have to carry water, I could go to school on time.” “Write three sentences about your own life.”
展開3	7	2026年のテーマの合言葉 Where water flows, equality grows. を板書し、グループで意味を話し合わせる。1995年のテーマ「女性と水」から31年たって、ふたたびジェンダーがテーマになった理由も考えさせる。	合言葉の意味と、同じ問題がふたたび選ばれた理由を話し合う。	“The 2026 message is “Where water flows, equality grows.”” “What does it mean? Talk in your group.” “The theme in 1995 was women and water. Why is it back in 2026?”
まとめ	3	何人かに自分の文を1つずつ読ませる。グループの話し合いで出た合言葉の意味を1～2グループに短く発表させ、書いた文を提出させる。	自分の文を読み、話し合いの結果を発表する。	“Read one of your sentences to the class.” “What does the message mean to your group?” “Please hand in your sheet.”

板書例

World Water Day 2026 : Where water flows, equality grows.

53 countries : women and girls → 250 million hours a day carrying water
(men and boys の3倍以上)

250 million hours ÷ 28,500 years = every day

2 hours × 7 days = 14 hours

2 hours × 365 days = 730 hours (about 30 days)

If I didn't have to carry water, I could ____.

(仮定法過去 : didn't have to / could + 動詞の原形)

1995 : Women and water → 2026 : gender again

評価のポイント

- 本文の数字（53か国・1日2億5,000万時間）を正しく読み取れたか。
- 仮定法過去の形で、自分の生活に結びつけた文を3つ書けたか。
- 合言葉の意味を、水くみと学校・仕事の時間に結びつけて説明できたか。

つまずきへの手だて

- 大きな数が読めない生徒には、250 million = 2億5,000万 の対応を表で確認させる。
- 文が書けない生徒には、go to school / study more / play with my friends / sleep more などの動詞句カードを渡し、could のあとに入れさせる。
- 話し合いが進まないグループには、「水が家の近くにあると、だれの時間が増えるか」と日本語で問いかける。

発展

- Discussion の問い Why do you think carrying water is often the work of women and girls? について意見を書く。
- 基本セット p.3 の Asha's Morning を読み、村に井戸ができる前とあとでアシャの生活がどう変わったかを英語でまとめる。
- 日本の「水の日」（8月1日）と世界水の日（3月22日）のちがいを英語で説明する。

使う教材

- 英語ページ本文（第3段落）と音声
- 基本セット p.3（穴埋め Asha's Morning）
- 電卓